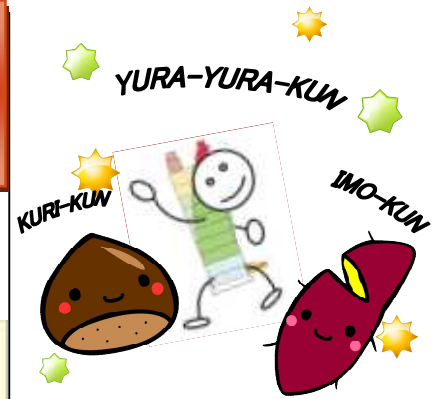


JASOの 新しいパンフレット 発行！

新しいJASOのパンフレットが出来上がりました。JASOの理念と活動実績を紹介し、一般のマンション居住者や施設の利用者もわかりやすいよう、建物の耐震化をフローチャートで紹介しています。このパンフレットは東京都や区の窓口などに設置・配布する予定です。JASOホームページからもダウンロードできます。カラフルで楽しいイラストはJASOアドバイザー瀬谷昌男氏によるものです。この場を借りてお礼申し上げます。



目次：

新パンフレット紹介 入会・退会 会員	1
JASOスクールの報告	2
JASO委員会再編 セミナーの報告	3
改修事例報告	4 5
会員事務所ご訪～問！	6
協力会会員ご訪～問！	7
お知らせ & スケジュール	8

平成25年4月～10月 入会・退会会員のお知らせ

入会

個人会員

佐藤 申二	佐藤一級建築士事務所
由利 隆行	(株)フォートリア設計
木村 修	(株)木村不動産鑑定
近角 真一	(株)集工舎建築都市デザイン研究所
中村 茂	アルパ建築研究工房一級建築士事務所
大館 正人	大館正人建築研究所
金 健次	東邦設計コンサルタント一級建築士事務所
横河 鉄弥	(株)フタバエンジニアリング
楠川 邦輔	楠川構造研究室一級建築士事務所
穴戸 照二	(株)日建ハウジングシステム

法人賛助会員

青木あすなろ建設(株)	齋藤 富士雄
中央(株)	渡部 幸三
(株)田村工務店	森 寿一

退会

個人会員

安藤 誠 (有)ANDO構造設計 (ご逝去) (敬称略・順不同)

JASOトピックス

- 11/22 ボージョレ・ヌーヴォーを
味わう秋のタベ
- 12/10 JASO忘年会 (予定)
- 1/11 東京都耐震セミナー
- 1/22 JASO協力会臨時総会

次第

開会の辞：原田光政教育・研修委員長

趣旨説明：安達和男副理事長

講演：「天井の耐震化」(株)オクシュー 上西 徹参事

講演：「JASOが提案する設備の耐震化案」平山昌宏理事

質疑応答：上原、北山、篠田、鯨井、原田、三木各会員

内容

- ① 原田委員長から、本講習会は「東京都特定緊急道路沿道建築物耐震化支援事業技術者講習会」として開催される旨、説明があった。
- ② 安達から、本講習会がJASOの地震対策委員会および非構造部材耐震化検討委員会で企画された旨、説明があった。さらに2014年春に、東日本大震災を受けた各種規定（天井、設備、EV、地震保険、他）の発表が予定されており、微妙な時期ではあるが、今後も折を見て今回同様の勉強会を企画していくとのこと。
- ③ 上西講師の「天井の耐震化」では、まず最近の天井崩落対策の流れが、学会、文科省、国交省別に時系列で解説された。次に9/26に説明会があった「建築物の天井脱落対策に係る技術基準の解説」の説明があった。（この解説は、「建築性能推進協会」のHPにアップされており、ダウンロードできるので参考にしていきたい。）今後、特定天井の設計は、仕様ルート、計算ルート、大臣認定ルートの三ルートで設計されることになる。
- ④ 平山講師の「JASOが提案する設備の耐震化案」では、まずEデフェンスの実大実験動画が映された。次に各種設備機器の地震被害写真が映され、問題点の解説が行われた。それらを踏まえ、将来JASO提案をにらんで、天井への取り付け方、吊り機器・配管の支持方法、防水層上のコンクリート基礎、デッキ床のあと施工アンカー等の在り方が説明された。
- ⑤ 質疑としては会場から、吊り部材の解析法、既存天井の耐震診断・補強の方法、あと施工アンカーのデッキ床施工場所、あと施工機械式アンカー等に関する質問がなされ、講師から回答があり議論がなされた。



司会者のまとめ：台風27号の接近にもめげず、熱心な講習会となった。

- ① 天井の設計に関しては、これまで以上に設計者の責任が問われることになる。建築、構造、設備の各技術者が専門メーカーの協力を得て取り組む必要がある。
- ② 新築以上の面積がある既存天井の耐震化は重要であるが困難でもあり、JASOの取り組むべき課題となりえる。

委員会の再編と活動について

JASOは設立10周年となる節目の年を迎えました。、2012年度は東京都特定道路沿道建築物の耐震化促進事業などにより事業規模が大幅に拡大しました。急激に増加した業務を支えるため、またJASOが耐震総合安全性を実現するための理念に則り社会的な責任にこたえるために、新たな委員会を設立し 組織の見直しを行いました。

○新たな委員会の設立

- 10周年記念事業委員会
- 非構造部材耐震化検討委員会

○JASO協力会の設立

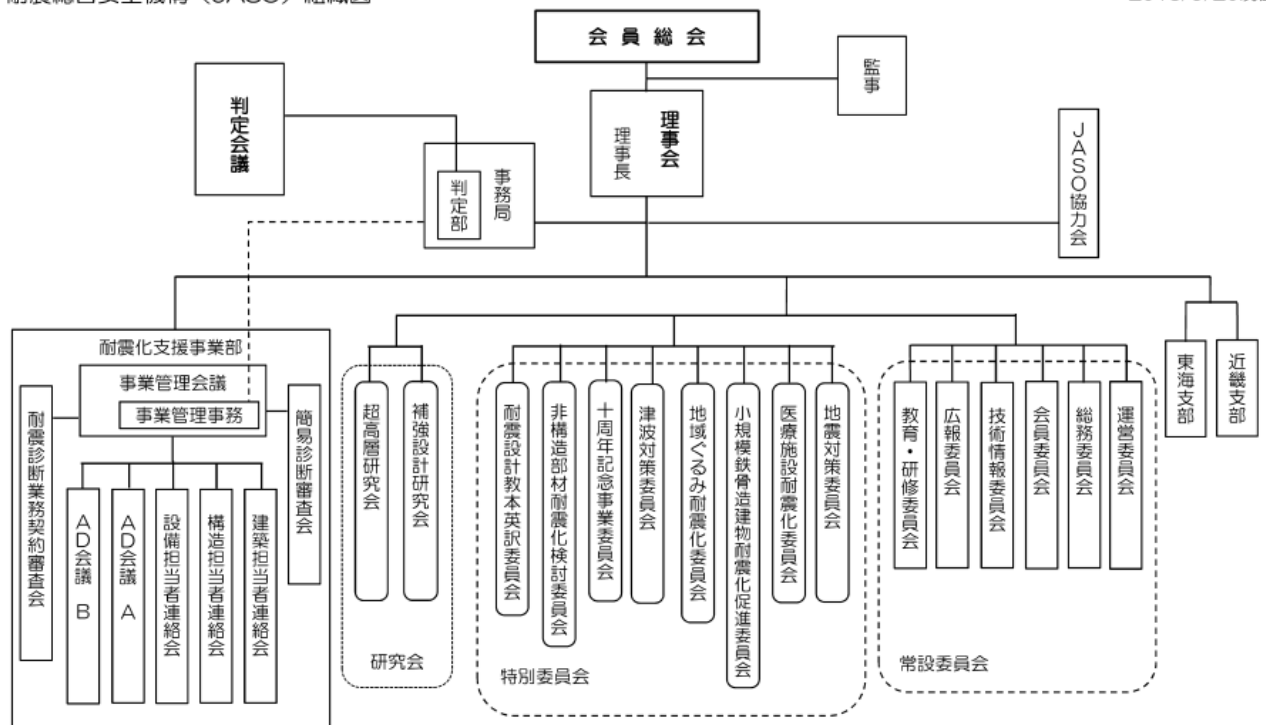
H・S会（法人会員・賛助会員会）をJASO協力会として再編した

○耐震改修事業への取組と組織体制の強化

組織的に業務を行うためその業務内容、責任範囲を明確にし、チェック・確認体制を構築する

耐震総合安全機構（JASO）組織図

2013/9/20現在



練馬区マンション耐震セミナー「マンションの地震対策・構造図を知る・合意形成の進め方」
 日時:9月28日 会場:練馬区役所本庁舎20階

深澤義和理事長、原田光政氏、岸崎孝弘氏の3名がJASOより講師として出席しました。耐震診断において重要な設計図書の読み方、アドバイザー派遣から耐震改修までの道のりと耐震補強の方法など、マンション管理組合の助けになるであろう内容でした。また、講演の後には質疑応答と無料相談の時間が設けられ、大変有意義なセミナーとなりました。



水谷ビル耐震補強工事

報告 (有)共同設計・五月社 小林 瑞恵

密集市街地に建つ、小規模ビルの耐震補強事例である。

<建物概要>

建物名称	水谷ビル	
所在地	新宿区 住吉町	
建設年	1978年(昭和53年)竣工	
建築確認	昭和52年6月24日第1612号	
検査済証	昭和53年3月13日第568号	
設計・施工	四谷建工株式会社	
主要用途	事務所	
構造	鉄筋コンクリート造	
規模	地上4階、塔屋1階	
敷地面積	91.475㎡	
建築面積	78.000㎡	
延べ面積	319.815㎡	
建物高さ	軒高	15.6m
	最高高さ	16.05m

<経過>

平成23年3月8日	アドバイザー派遣
平成23年4月24日 ~6月18日	簡易診断
平成24年5月1日 ~7月29日	精密診断
平成24年10月7日 ~平成25年2月末日	補強設計
平成24年4月26日 ~6月30日	耐震改修工事

<外観写真>



<簡易診断・精密診断・改修後のIs値、CT・SD値>

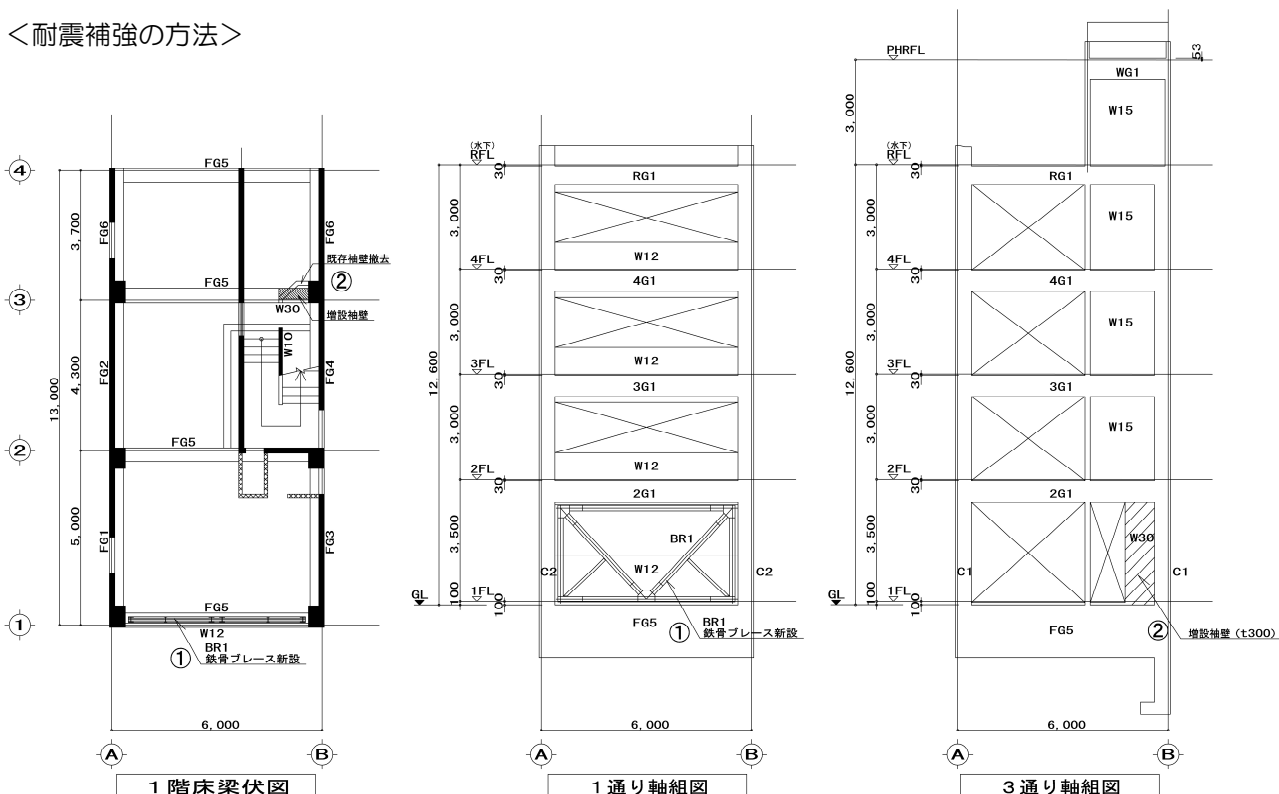
階	簡易診断時		精密診断時				改修後			
	X方向		X方向		Y方向		X方向		Y方向	
	Is	Is	Is	CT・SD	Is	CT・SD	Is	CT・SD	Is	CT・SD
4	0.992	2.553	1.15	1.15	2.43	2.43	1.17	1.17	2.43	2.43
3	0.554	1.427	0.76	0.76	1.52	1.52	0.77	0.77	1.52	1.52
2	0.496	1.230	0.63	0.63	1.25	1.25	0.64	0.64	1.25	1.25
1	0.375	1.319	0.37	0.37	1.70	1.71	0.77	0.77	1.70	1.71

※オレンジ着色部：目標値より不足している階

<耐震補強の方法>

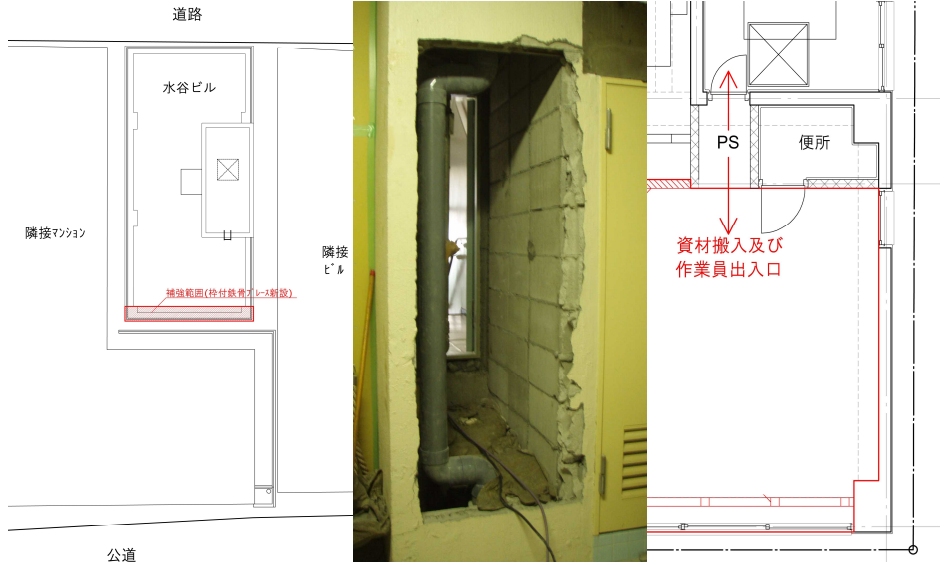
- Is値0.6以上を目標に、①鉄骨ブレース新設、②増設袖壁による、耐震補強を行った。
- 補強範囲は、1階のみに限り、2階の診療所になるべく影響がないようにした。

<耐震補強の方法>

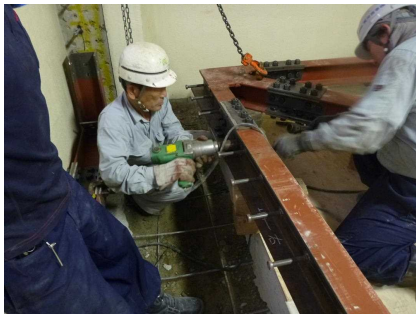


<仮設計画>

本敷地は北側のみ道路に面し、ほか3方は建物が敷地ギリギリまで建っている。鉄骨ブレースを新設する部分が道路より一番奥側であり、1階は、ATMに使用されているため、警備がしかれ、仮設経路をどう確保するか頭を悩ませた。工事の際は、階段奥のパイプスペースのコンクリートブロック壁を除却し、そこから資材の搬入、作業員通路として



<鉄骨ブレース新設工事>



鉄骨ブレース組立て



鉄骨ブレース据付け

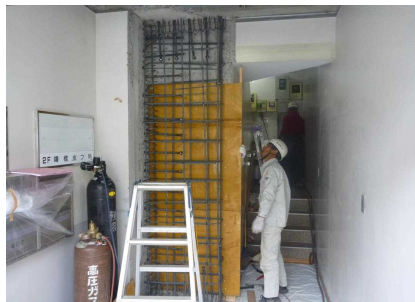


鉄骨ブレース新設

<袖壁増設工事>



既存袖壁撤去



壁配筋、型枠建込



袖壁増設

<アドバイザー派遣から耐震改修工事までの事業費内訳>

	総事業費	オーナー実負担額	公的補助額
1 アドバイザー派遣		負担なし	
2 簡易診断		負担なし	
3 精密診断	約 280 万円	約 240 万円	約 40 万円
4 補強設計	約 300 万円	約 260 万円	約 40 万円
5 改修工事	約 777 万円		
耐震改修工事	約 640 万円	約 240 万円	約 400 万円
インテリア改修工事	約 137 万円	約 137 万円	
6 工事監理費	約 60 万円	約 60 万円	
7 給水改修工事 (別途工事)	約 185 万円	約 185 万円	
8 計 比率	約 1,600 万円	約 1,120 万円 約 70.0%	約 480 万円 約 30.0%

<本物件の担当者>

1	アドバイザー派遣	構造：福田陽一 建築：小林瑞恵
2	簡易診断	構造：福田陽一 建築：小林瑞恵 設備：堀尾佐喜夫
3	精密診断、補強設計、工事監理	構造：福田陽一 上原寛明 建築：三木哲 小林瑞恵

耐震改修工事と合わせて、エントランス廻りのリニューアル工事と直結給水方式への改修工事を同時期に行いました。

～全ての原点は好奇心～

モスクワ近郊のオブニスクで世界初の商用原子力発電所が稼働した昭和29年、宮城県石巻市で生まれる。幼少の頃、昭和35年のチリ地震による大津波を体験し、胸まで浸かった恐怖は今でも忘れられない。家業の大工を継ぎ三代目となるはずであったが、幼い頃からとにかく好奇心が強かったので、大工というポジションでは物足りず、大手ゼネコンに就職し現場代理人として多くの物件を手がけてきた。

構造技術者なら「食べていくのに困らないだろう」と思い構造の道に入り設計事務所に転職したのだが、旺盛な好奇心が建築という枠に納まりきらなくなり、プラントの設計会社へ移る。そこは、建築に比べかなりシビアな世界であったが、当時は高額であった大好きなコンピューターが使い放題という恵まれた環境であることがその後の栗野の人生に大きく影響した。30代の頃、プラント業界に不況の波が押し寄せ建築業界に戻ることになる。東京の建築士事務所に入り一級建築士を取得、平成元年にアワノ建築設計を設立した。止まることを知らない好奇心の鋒先はコンピュータープログラムに向かうのだが、とにかくいろんな構造プログラムを試す姿は、もはやオタクの領域を超え神がかった。初仕事は大井競馬場のパドックの付属施設であったが、その後も数多くのビルを手がけ、浦和駅前の再開発という大きなプロジェクトにも関わることになり、免震マンションもいくつか手がけてきた。いまでは従業員が10名を数える程に成長した。耐震診断については、阪神淡路大震災以前の平成5年から既に取り組んでいる。港区の物件で原田光政氏と出会い、加藤光一氏の紹介でJASOに入会した。都の沿道事業が終了し、診断できない残された建物はどうなってしまうのが今から心配でならない。明治通り沿いに建つ「トーカンマンション王子」の2フロアをアワノ建築設計が使っているのだが、管理組合の副理事長に就任し、発注者の立場として自らのマンションの耐震化に取り組んでおり、現在JASO会員が補強設計に取り掛かったところである。補強工事の竣工が待ち遠しい。

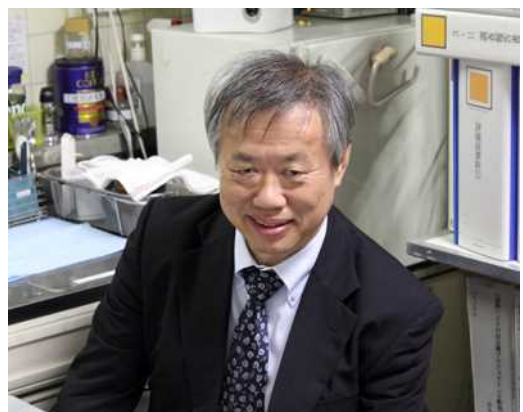
(柳下雅孝)



幼少時代のチリ津波で被災、胸まで浸かった恐怖は忘れられない



アワノ建築設計がある
トーカンマンション王子
管理組合副理事長として発注者の立場で
耐震補強に取り組む



笑顔でインタビューに答える栗野政晴氏

協力会員様ご訪～問！ 第17回

エスケー化研株式会社

このコーナーではJASOの法人会員・賛助会員の会社を訪問し、耐震への取組状況についてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

「無から有を生じる」の理念を原点に、昭和30年にエスケー化研(株)は設立されました。(当時社名：四国化学研究所) それまで塗料等の洗浄後、燃焼したり、投棄されていた廃溶剤に着眼し、リサイクルに向けての開発を行ないました。石油ショックの頃には脱石油化を唱え、セラミックの特質である硬度や不燃性、断熱性を生かした製品開発をしてきました。現在は、建築仕上塗材を始め、特殊塗料、無機材料及び化学化成品分野に至るまで幅広く展開されています。

訪問させて頂いたのは、神奈川県座間市にある神奈川工場です。約20,000㎡の敷地内には、水性塗料工場、溶剤塗料工場、シンナー工場、倉庫等が建設されており、建築仕上塗材の生産から出荷までを行っています。水性塗料工場では、樹脂、顔料、添加剤等を分散混合して水性塗料を製造して調色されるまでの工程を見学させて頂きました。首都圏を中心に建築仕上塗材のシェア50%以上を供給している工場だけのことはあり、水性塗料だけでも月間2,000トン以上生産されており、何台もの機械が連携稼働し、効率の良い作業を見せてくれました。また特殊な色を、手作業で調色されている職人技も印象的でした。

現在普及に努めているのが、シート建材と耐火被覆材です。

シート建材は、主にマンションの壁面タイルの代わりにとなり、剥落抑止に有効な仕上材です。陶磁器タイルは重量があることから経年劣化と地震による揺れにより剥落の危険性があります。シート建材を採用することにより躯体に負担が少なくなり安全性が高まります。広面積かつ軽量のシート建材をタイルの上から接着剤で貼ることにより、タイルの剥落を抑止することも出来ます。東日本大震災では復旧工事に活躍しました。経年劣化した外壁改修の一つの方法として、今後期待されます。

耐火被覆材のSKタイカシートは、その他の耐火被覆材に比べて1/3程度の大幅な工程短縮により施工管理の簡略化はもちろんのこと、3mm厚シート一枚貼りで1時間耐火が実現できる優れた性能を持っています。天井懐を抑えられることから空間の有効利用も考えられますし、構造部材を見せるデザインにも向いています。また乾式の貼り付け工法のため養生が不要であり、新築に限らずリニューアル工事にも適しているといえます。

双方の製品とも安全性、機能性を追求した製品です。建物の構造体だけの強さでは無く、火災や二次災害などへの備えも求められています。今後の発展、開発に期待が寄せられます。(倉内あかり)



ショールームで見せて頂いた
SKタイカシート



インタビューに応じてくださったエスケー化研の皆様
奥左から東京第二営業所 改装開発グループ 課長 三條場氏、
東京第二営業所 所長 福山氏(中央)、工場長 板谷氏(右)

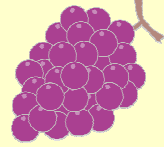
.....お知らせ.....

ボージョレ・ヌーヴォーを味わう秋の夕べ

日頃の皆様のご尽力に対するねぎらいと、JASO会員と協力会（法人・賛助会）会員の親睦を深めるため、毎年恒例となりましたボージョレ・ヌーヴォーを囲んでの懇親会を下記の通り開催いたします。ご多忙中とは存じますが、皆様どうぞご出席下さい。

◆日時：2013年11月22日（金）17：30～ ◆会場：JASO 2階会議室 ◆会費：3,000円
※お酒やおつまみ等のお持ち込みも大歓迎です。

準備の都合上、出席の方は11月15日（金）までに下記にご連絡ください。
連絡先：(株)アクシス 担当：李 u-ri@axis-slit.com FAX：03-5377-7782



JASO忘年会

今年も残り少なくなってきました。親睦をはかるとともに、この一年の反省と来年への飛躍の糧としていただくため、恒例の忘年会を下記のとおり執り行う予定です。

12月10日（火）18：00スタートの予定です。

会場や会費などの詳細は決まり次第、改めてご連絡いたします。



JASO協力会 臨時総会のお知らせ

法人会員と法人賛助会員による会は「H・S会」は新たに「JASO協力会」として理事会で承認されました。会則の承認および今後の活動方針の確認を行うために下記の通り臨時総会を開催します。法人会員・法人賛助会員のみならずぜひご出席ください。

◆日時：2014年1月22日（水）10：30～ ◆会場：JASO 2階会議室
◆問い合わせ先：JASO協力会事務局 アクシス(株)李 TEL：03-5377-7781

—アンケートにご協力をお願いします—

現在JASOでは、新たな10年に向け、会員サービスの充実を目指して会員アンケートを実施しています。事務局から送られたメールに添付されたアンケート（Excelファイル）に記入の上、返信をお願いします。

2013年 JASO 行事スケジュール

11月	11/12	（火）	アドバイザー会議
	11/22	（金）	ボージョレ・ヌーヴォーを味わう秋の夕べ
	11/26	（火）	アドバイザー会議
12月	12/10	（火）	アドバイザー会議
	12/10	（火）	JASO忘年会（予定）
	12/24	（火）	アドバイザー会議
1月	1/11	（土）	東京都耐震セミナー
	1/22	（水）	JASO協力会 臨時総会

前号の訂正とお詫び

前号の記事中に下記の通り誤りがありました。

P7 HS会員様ご訪～問！「アサヒボンド工業株式会社」コーナー
（正）TEL：03-3972-4929 （誤）TEL：03-3382-6521

また、広報誌送付状の同社名が「朝日ボンド工業株式会社」となっておりましたが、正しくは「アサヒボンド工業株式会社」です。訂正してお詫び申し上げます。